

武漢事務所週間ニュース 20号

武漢国際博覧センター開業 武漢にて7つの大きな展覧会を実施

2011年8月23日 武漢晩報

昨日、武漢市政府主催の武漢産業見本市が行われた。武漢国際博覧センターの開業に伴い、今年から7つの大きな展覧会が武漢にて順次開催される。

7つの大きな展開の紹介：

全国自動車組立部品交易会及び全国自動車組立部品仕入交易会。今年の10月15日から17日にかけて国際博覧センターのこけら落としとして行われる。展覧規模は6万㎡。

全国薬品製造機械博覧会。商務部が重点的に支持している展覧会のうちの一つで、毎年春と秋の2回開催している。展覧会の面積は10万㎡を超える。

中国国際金物博覧会。アジア最大、専門的かつ影響力が大きく、国際的な知名度もあり、世界から集客できる国際的な展覧会。何年にも渡り商務部の重点的な支持を受けてきた名だたる展覧会であり、国家の権威ある機構に中国のA級展覧会と評されている。

中国国際農機展覧会。中国三大農機協会 - 中国農業機械流通協会、農業機械化協会、農業機械工業協会の3つの協会の共催で実施され、国内最大規模の専門農機博覧会。展覧面積は10万㎡を超える。

中国（武漢）国際自動車用品及び自動車装飾会展覧会

中国国際商用自動車展覧会

中国（武漢）新エネルギー博覧会

国際博覧センター経営管理会社の責任者によると、上記のうち、最初の4つは国際博覧センターが請け負い、後の3つは鄭州鑫達、漢諾威米蘭と大美国際資訊などの企業が合同して展覧会を行う。

10月、武漢に9つ目の長江大橋が着工する

2011年8月27日 楚天金報

武漢において9番目となる、支点間距離が史上最も広い長江大橋である黄家湖長江公路大橋が10月に着工する。昨日、武漢市政府及び中国交通建設グループが黄家湖長江公路大橋への投資に関する協議書に正式にサインした。

黄家湖大橋は全長8.4km、主要部は3.1km、橋の両端のアプローチ部分は1.9km、ケーブルは3.4kmある。総投資額は52億元（約624億円）、今年10月に着工し4年の建設期間を経て2015年に完成予定。

黄家湖大橋はツインタワーで鋼とコンクリートの混合構造を用いた斜張橋である。中央径間が760mあり世界第10位、武漢では最大の斜張橋である。世界の中央径間が最も大きな斜張橋はわが国に現在建設されている蘇通大橋の中央径間が1088m。黄家湖長江大橋は武漢で9番目の橋となり、現在のところ中央径間が最も大きな斜張橋となる。それまで、武漢で中央径間が最も大きな斜張橋は白沙洲長江大橋であり、618mであった。

プロジェクトの計画によると、黄家湖大橋は双方向に8車線の高速道路であり、時速100km、橋の横幅の広さは46メートルであり、これは長江で最も幅広い橋となる。それまで長江で最も広い橋は重慶市にある魚洞長江大橋であり、41.6メートルであった。

黄家湖長江公路大橋は軍山長江公路大橋と白沙洲長江公路大橋の間に位置し、長江公路大橋から9.2km川下に、白沙洲長江公路大橋から7km川上に位置する。北には武漢経済技術開発区があり、徐家堡漢洪高速道路と連結しており、長江、武金堤を越え、洪山区青菱郷を經由し、江夏区青鄭高速龔家鋪に通じている。

黄家湖長江公路大橋は武漢にある4つの環状道路の重要な部分であり、かつ交通をコントロールするキーポイントの一つとなる。大橋が完成した後は、武漢の長江を渡る交通の緩和となり、都市空間の優良化の布石となり、新都市の建設を加速化させ、武漢の総合交通の中核としての地位を確固たるものにすることができる。

10月の黄家湖長江大橋の着工に伴い、武漢四環状線建設も全面着工となる。